



# Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unified Presence との間のセキュ リティの設定

- 「セキュリティを設定するための前提条件」(P.4-1)
- 「証明書交換を設定する方法」(P.4-1)
- 「Cisco Unified Presence で TLS 設定を設定する方法」(P.4-4)

## セキュリティを設定するための前提条件

この章で説明するセキュリティ設定以外に、Cisco Unified Communications Manager サーバで次の事項も設定されていることを確認してください。

- 「Cisco Unified Presence の SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定」(P.3-10)
- 「必要なサービスが実行されていることの確認」(P.3-23)

## 証明書交換を設定する方法

ここでは、Cisco Unified Communications Manager サーバと Cisco Unified Presence サーバとの間で自己署名証明書を交換する方法について説明します。

- 「Cisco Unified Communications Manager からの証明書のダウンロード」(P.4-2)
- 「Cisco Unified Presence からの証明書のダウンロード」(P.4-2)
- 「Cisco Unified Presence への Cisco Unified Communications Manager 証明書のアップロード」(P.4-2)
- 「SIP プロキシ サービスの再起動」(P.4-3)
- 「Cisco Unified Communications Manager への Cisco Unified Presence 証明書のアップロード」(P.4-3)
- 「Cisco Unified Communications Manager サービスの再起動」(P.4-4)

## Cisco Unified Communications Manager からの証明書のダウンロード

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager サーバ上で Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページにログインします。
  - ステップ 2** [セキュリティ] > [証明書の管理] を選択します。
  - ステップ 3** [検索] をクリックして、証明書を一覧表示します。
  - ステップ 4** CallManager.der ファイルをクリックします。
  - ステップ 5** [ダウンロード] をクリックして、ローカル コンピュータにファイルを保存します。
- 

### 次の操作

[「Cisco Unified Presence からの証明書のダウンロード」](#) (P.4-2)

## Cisco Unified Presence からの証明書のダウンロード

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Presence サーバ上で Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページにログインします。
  - ステップ 2** [セキュリティ] > [証明書の管理] を選択します。
  - ステップ 3** [検索] をクリックして、証明書を一覧表示します。
  - ステップ 4** sipproxy.pem ファイルをクリックします。
  - ステップ 5** [ダウンロード] をクリックして、ローカル コンピュータにファイルを保存します。
- 

### トラブルシューティングのヒント

sipproxy.csr ファイルへのアクセスに関してエラーが表示されても無視してください。  
Cisco Unified Communications Manager と交換する証明書には Certificate Authority (CA; 認証局) の署名は必要ありません。

### 次の操作

[「Cisco Unified Presence への Cisco Unified Communications Manager 証明書のアップロード」](#) (P.4-2)

## Cisco Unified Presence への Cisco Unified Communications Manager 証明書のアップロード

### 始める前に

[「Cisco Unified Communications Manager からの証明書のダウンロード」](#) (P.4-2) の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Presence サーバ上で Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページにログインします。
  - ステップ 2 [セキュリティ] > [証明書の管理] を選択します。
  - ステップ 3 [証明書のアップロード (Upload Certificate)] をクリックします。
  - ステップ 4 [証明書の名前 (Certificate Name)] メニューから [sipproxys-trus] を選択します。
  - ステップ 5 Cisco Unified Communications Manager からダウンロードした証明書 (.der ファイル) を参照し、選択します。
  - ステップ 6 [ファイルのアップロード (Upload File)] をクリックします。
- 

### 次の操作

[「SIP プロキシ サービスの再起動」 \(P.4-3\)](#)

## SIP プロキシ サービスの再起動

### 始める前に

[「Cisco Unified Presence への Cisco Unified Communications Manager 証明書のアップロード」 \(P.4-2\)](#) の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Presence サーバ上で Cisco Unified Serviceability にログインします。
  - ステップ 2 [ツール] > [コントロール センタ - Feature Services] を選択します。
  - ステップ 3 [Cisco UP SIP プロキシ] を選択します。
  - ステップ 4 [リスタート] をクリックします。
- 

### 次の操作

[「Cisco Unified Communications Manager への Cisco Unified Presence 証明書のアップロード」 \(P.4-3\)](#)

## Cisco Unified Communications Manager への Cisco Unified Presence 証明書のアップロード

### 始める前に

[「Cisco Unified Presence からの証明書のダウンロード」 \(P.4-2\)](#) の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager サーバ上で Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページにログインします。

- ステップ 2 [セキュリティ]>[証明書の管理] を選択します。
  - ステップ 3 [証明書のアップロード (Upload Certificate) ] をクリックします。
  - ステップ 4 [証明書の名前 (Certificate Name) ] メニューから [Callmanager-trust] を選択します。
  - ステップ 5 Cisco Unified Presence から以前にダウンロードした証明書 (.pem ファイル) を参照し、選択します。
  - ステップ 6 [ファイルのアップロード (Upload File) ] をクリックします。
- 

#### 次の操作

[「Cisco Unified Communications Manager サービスの再起動」\(P.4-4\)](#)

## Cisco Unified Communications Manager サービスの再起動

#### 始める前に

[「Cisco Unified Communications Manager への Cisco Unified Presence 証明書のアップロード」\(P.4-3\)](#) の手順を実行します。

#### 手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager サーバ上で Cisco Unified Serviceability にログインします。
  - ステップ 2 [ツール]>[コントロール センタ - Feature Services] を選択します。
  - ステップ 3 [Cisco CallManager] の横にあるオプション ボタンを選択します。
  - ステップ 4 [リスタート] をクリックします。
- 

#### 次の操作

[「Cisco Unified Presence で TLS 設定を設定する方法」\(P.4-4\)](#)

## Cisco Unified Presence で TLS 設定を設定する方法

- [「TLS ピア サブジェクトの設定」\(P.4-4\)](#)
- [「TLS コンテキストの設定」\(P.4-5\)](#)



(注)

自己署名証明書をインポートすると、TLS ピア サブジェクトが自動的に作成されます。

---

## TLS ピア サブジェクトの設定

#### 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified Presence の管理]>[システム]>[セキュリティ]>[TLS ピア サブジェクト] を選択します。

- ステップ 2** [新規追加] をクリックします。
- ステップ 3** ピア サブジェクト名に対して次の手順のいずれかを実行します。
- a. サーバが提示する証明書のサブジェクト CN を入力します。
  - b. 証明書を開き、CN を探してここに貼り付けます。
- ステップ 4** [説明] フィールドにサーバの名前を入力します。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
- 

#### 次の操作

[「TLS コンテキストの設定」\(P.4-5\)](#)

## TLS コンテキストの設定

#### 始める前に

[「TLS ピア サブジェクトの設定」\(P.4-4\)](#) の手順を実行します。

#### 手順

- 
- ステップ 1** [Cisco Unified Presence の管理] > [システム] > [セキュリティ] > [TLS コンテキスト設定] を選択します。
- ステップ 2** [検索] をクリックします。
- ステップ 3** [Default\_Cisco\_UPS\_SIP\_Proxy\_Peer\_Auth\_TLS\_Context] をクリックします。
- ステップ 4** 使用可能な TLS ピア サブジェクトのリストから、設定した TLS ピア サブジェクトをクリックします。
- ステップ 5** この TLS ピア サブジェクトを [選択された TLS ピア サブジェクト (Selected TLS Peer Subjects)] に移動します。
- ステップ 6** [保存] をクリックします。
- ステップ 7** [Cisco Unified Presence のサービスアビリティ] > [ツール] > [Service Activation] を選択します。
- ステップ 8** Cisco Unified Presence SIP プロキシ サービスを再起動します。
- 

#### トラブルシューティングのヒント

TLS コンテキストに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。

